

蝦夷国風図絵（卷子装）修理後（第4紙）



総裏除去



紙継ぎ



欠損の補修



修理後の納入

国立アイヌ民族博物館 第9回テーマ展示

イェエレプ

収蔵資料展 イコロ-3-

2026.1.10(土)→2.23(月・祝) 休館日: 1/13, 1/19, 1/26
2/2, 2/9, 2/16

国立アイヌ民族博物館 特別展示室

北海道白老郡白老町若草町2丁目3番1号 ※国立アイヌ民族博物館は、ウポポイ（民族共生象徴空間）内にあります。

※イェエレプ: アイヌ語で3番目という意味



剥落留め



クリーニング



欠損の補紙



本紙の貼込み



蝦夷国風図絵（屏風装）修理後



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

主催：国立アイヌ民族博物館 後援：公益社団法人北海道アイヌ協会
協力：株式会社文化財保存／公益財団法人元興寺文化財研究所



1章: 資料を 収集する

- ▶ 近年の購入資料の紹介
- ▶ 近年の寄託資料の紹介



衣服（樹皮衣）



シントコ（行器）



タマサイ（首飾り）

2章: 資料を 修理する

- ▶ 修理した資料の紹介
- 蝦夷国風図絵（卷子装、屏風装）の修理



修理の様子（巻子の解体）

国立アイヌ民族博物館
第9回テーマ展示

収蔵資料展

イコロ-3-

当館は、アイヌの歴史や文化を展示する博物館として、国内外に保管されているアイヌ文化関連資料の調査を行っています。また、買取・寄贈・寄託という方法で資料の収集を行うとともに、資料の管理や保存といった活動も行います。

本展覧会は、資料収集や資料保存など博物館活動の裏側を主なテーマとし、近年収集した資料の公開や、資料の修理について紹介します。普段の展示では知ることができない博物館活動の舞台裏の様子から、アイヌ資料を次世代に繋ぐための取り組みをご覧ください。

◆ ギャラリートーク ◆

第1回: 1/10(土) 14:00-14:30 第3回: 2/7(土) 14:00-14:30

第2回: 1/17(土) 14:00-14:30 第4回: 2/14(土) 14:00-14:30

展示の見どころや博物館の活動を紹介する解説ツアーです。資料の収集・保存・修復などを通じて、資料を後世に伝えるための活動をお話します。各回で解説する内容が異なるため、何回でも楽しめます。

◆ 博物館バックヤードツアー ◆ 日時: 1/24(土) 14:00-15:15 (受付13:30から)

博物館の活動の一つである資料の収集・保存。その裏側では、資料の整理や診断などの作業を日々行っています。当館職員の解説を聞きながら、博物館の裏側を見学してみましょう！

◆ 講演会 ◆ 日時: 1/31(土) 14:00-15:00

「絵画の修理～装幀修理技術について～」(仮)

講師: 吉岡宏氏(株式会社文化財保存 代表取締役)

今回展示する蝦夷国風図絵(屏風装・卷子装)の修理について、株式会社文化財保存の吉岡宏氏よりお話を頂きます。絵画や古文書類などの文化財の修理技術である“装幀修理技術”についてご紹介します。

※株式会社文化財保存は、東洋の絵画・書跡を中心に、さまざまな文化財の保存や修理に携わる修理工房。国宝や重要文化財を含む多数の文化財の保存修理実績を有する。

関連イベントについては変更する場合があります。最新情報はウェブページでご確認ください。



国立アイヌ民族博物館(ウポポイ内) 2階 特別展示室

北海道白老郡白老町若草町2丁目3-1

【アクセス】

札幌から約1時間、新千歳空港から約40分

▶ 乗用車 … 白老インターから車で約10分

▶ 電車 … JR白老駅から徒歩約10分

【開館時間】

9:00-17:00(最終入館16:30)

駐車場へのご入場、ウポポイへのご入園は16時が最終時間となります。



詳しくは国立アイヌ民族博物館のWEBサイトへ
<https://nam.go.jp/exhibition/floor2/special/shuzoshiryo2025/>

